

のぼりペツ

広報

●8月9日～11日ボランティアスクール(中学生ワークキャンプ研修会)
市社会福祉協議会主催のボランティア体験学習が、総合福祉センター・しんた21で行われました。子供たちにボランティアの精神を育んでもらおうと2年前から行われています。今年は、指定校の幌別中学校から8人の生徒が参加し、デイ・サービスに訪れたお年寄りの入浴などの介護を体験しました。



特集

- ◆デイ・サービス事業紹介
- ◆防災シリーズ2
- ◆市民リポート
消防署密着体験リポート
市民リポーター 兼子浩二
- ◆さらに
医療法人三愛病院野球部
監督 小杉 浩光さん

9/1
1994
No.527

在宅老人・障害者 デイ・サービス

家庭で暮らしたい

今年2月から、福祉と健康づくりの拠点・総合福祉センター（しんた21）で、在宅老人と障害者のデイ・サービス事業を市の委託を受けた社会福祉協議会が運営しています。今月号は事業開始から半年たったデイ・サービスの日を紹介します。

在宅老人の デイ・サービス事業は

自宅での生活で歩行や入浴などの日常生活に困難な概ね65歳以上の寝たきりや体の弱いお年寄りを対象に入浴や食事、レクリエーションを主として一日お世話するもので、一般的には「日帰り介護サービス」と呼ばれています。

障害者の デイ・サービス事業は

自宅で暮らす心身障害者を対象に、送迎や入浴、給食サービスのほかワープロ講座や料理教室、陶芸教室などの趣味、生きがいづくりを通じた創作的活動や社会参加に向けた社会適応訓練を行います。

市と社会福祉協議会は、デイ・サービス事業を通して、お年寄りの孤立感の解消や心身機能の維持向上、日ごろ家庭でお世話している家族の身体的、精神的負担の軽減をはじめ、ノーマライゼーションの理念に基づき、障害を持つ方々の生きがいづくりと社会参加を図ることをねらいとしています。

その思いを 支えます



自力で総合福祉センターに通うことのできない方には、車椅子やストレッチャを積み込みできるリフト付きワゴン車と、中型バスで自宅まで迎えに行きます

迎え

9:10



センター到着後、体温と血圧、脈拍などのチェックをし、看護婦が健康管理のアドバイスを行います。

健康
チェック

10:30



自力で入浴することができなくても、座ることができる方であれば洗髪や入浴を安全に行えるようお手伝いします。また、シャワーベッドを使い、寝たままの状態が入浴できる特殊入浴もあります。

入浴

11:00



ひ・と・こ・と

来るのがとても楽しみ



細海 重吉さん
(富士町・75歳)

4月から妻とふたりでここ(しんた21のデイ・サービス)に来てる。職員の人みんな大事にしてくれるからとてもうれしい。病気で左半身マヒして歩けなかったけど、だんだんと元気になって車からの乗り降りも今では一人でできるようになったんだよ。風呂に入れてもらって気持ちいいね、給食の味付けも良くておいしいよ。週1回来るのが楽しみなんだ。

いつまでも 住み慣れた地域や



給食

12:00



栄養士が栄養面、健康面を考えた彩りの良い、食欲をそよめる低カロリーでの献立をつくりまします。お年寄りが食べやすいよう調理員が心を込めて調理します。

日々明るく元気になる母



合田 すみ子さん
(中央町)

92歳になる母が3月から週一回デイ・サービスを利用しています。始めは何となく尻込みしていた母ですが、その朝になると「今日は何を着て行こうか」なんて、いそいそしています。帰って来たら輪投げが上手にできたことなど楽しそうに話し、そんな母を見て私たち家族までがうれしくなっています。週1回のデイ・サービスが良い刺激となっているようで、とても元気になった母に驚いています。



日常動作 訓練

14:00



日常生活上の身体機能の維持や低下を防ぐため、歌やゲームなどのレクリエーションを主にして訓練を行います。



送り

15:00



体も心も元気になって帰宅。センターから自宅まで送ります。

私たちがお世話します



デイ・サービスは、社会福祉協議会職員のケアワーカー(寮母)5名、看護婦や指導員など総勢10名でお世話しています。

デイ・サービスの 利用申し込み

デイ・サービスを希望の方は、総合福祉センター(しんた21)の保健福祉課在宅ケア係か社会福祉協議会に電話で申し込みください。

後日、在宅ケア係職員と保健婦が自宅を訪問し、身体の状態や介護の様子などを伺い、医師や保健婦の助言をもとに協議し、適否の結果をお知らせします。▽問い合わせ

保健福祉課(☎0501000)
社会福祉協議会(☎080860)

デイ・サービス
利用料金 1回500円
利用回数 原則週1回で月4回まで
一日利用者 平均18名
登録者 8/23現在) 93名

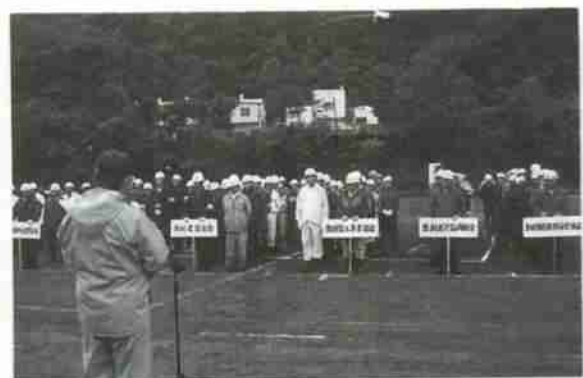
災害に備えて

自然の力は計り知れません。地震や台風・集中豪雨などによる災害は、私たちの財産ばかりでなく、命さえも奪い取ってしまう危険性もっています。今月号は、8月号に続き防災に対する市の対応と、本格的な台風シーズンを迎え、どう備えるかを掲載します。

9月1日は防災の日



去年7月29日登別温泉地区で行われた防災総合訓練の様子



1. 防災総合訓練

災害が発生したときに備え、登別市防災会議の主催で2年毎に北海道電力・NIT室蘭・登別建設協会・登別ガス協同組合・自衛隊などをはじめ、開催地区の町内会の皆さんが参加して避難訓練や通信訓練・広報訓練などを行います。

2. 市民組織等の活動

● 防災協力員

各町内会から推薦された方を市長が委嘱し、防災協力員として災害の状況を速やかに市長に通報するとともに、市長の要請に応じて地域の予想される災害危険個所の点検や避難に関して協力します。

● 日赤奉仕団

市赤十字奉仕団は、災害時の食糧供給、避難所での奉仕活動、救済物資の支給などに協力します。

● 町内会

被災者に対する援助や炊き出し、町内の清掃などに協力します。

● 登別観光協会

観光客への災害情報の伝達や避難などに協力します。

● 登別建設協会

応急対策や復旧工事に必要な人員と資機材の確保に協力します。

● 登別商工会議所

商工業者の被害状況の把握や応急物資の調達に協力します。

● 登別漁業協同組合



▲昭和58年の大雨災害で救助活動を行う自衛隊員

幌別ダムからの放流による災害を防止するために

幌別ダム管理者の北海道企業局室蘭地区工業用水道管理事務所は、ダムからの放流による災害を防止するため次の警告や周知を行います。

1. 警報車のパトロール

ダム地点から幌別川河口までの区間をダム放流の15分前から行っています。

(1)ダム放流を開始するとき(初期放流) (2)放流量が100㎥、200㎥、300㎥に達するとき(3)その他必要と認められるとき

2. サイレンの吹鳴

ダム放流開始約20分前から10分間吹鳴します。

3. スピーカーの吹鳴

(1)放流開始と放流量が100㎥、200㎥、300㎥に達するとき(2)ダム放流開始約10分前から10分間(3)ダム地点以外に設置されたスピーカーによる警報は、ダム放流により、当該地点における幌別川の水位の上昇が開始されると認められるときの約15分前に15分間

※川上大橋・小橋周辺の岸辺の釣りには危険性が高いので、特に注意してください。

▽問い合わせ 北海道企業局室蘭地区工業用水道管理事務所(☎

2821)

漁船、漁具などの被害状況の把握や船舶の遭難、水難時の人命救助に協力します。

● 登別市農業協同組合

農地、農作物、営農施設の被害状況の把握などに協力します。

● 旺日本アマチュア無線連盟登別オロフレクラブ

無線通信による災害情報の収集や伝達に協力します。

3. 災害を未然に防止するため

市は国や北海道の協力を得て、過去に災害が発生した場所を中心に排水路や河川改修、治山、護岸などの整備を毎年計画的に進めています。

わが家の台風・豪雨対策を!

●屋内では

- ・停電に備えて懐中電灯やトランジスタラジオ(予備電池を忘れずに)の準備を
- ・避難に備えて貴重品などの非常持出品の用意を
- ・気象情報を注意深く聞く
- ・むやみに外出しない
- ・飲料水を確保する(断水に備えて)
- ・浸水の恐れがある所では、家財道具や食料品などの生活用品を高い場所へ移動
- ・病人や乳幼児、身体の不自由な人などを安全な場所へ



●外壁

- ・モルタルの壁に亀裂はないか
- ・板間に腐りや浮きはしないか



●窓ガラス

- ・ひび割れ、窓枠のがたつきはないか。また強風による飛来物などに備えて、外側から板でふさぐなどの処置を



●雨どい・雨戸

- ・雨どいに落ち葉や土砂がつかまっていないか。縦ざ目のはずれや塗料のはがれ、腐りはしないか
- ・雨戸にガタツキやゆるみはないか



●屋根

- ・トタンのめくれやはがれはないか
- ・瓦のひび、割れ、はがれはないか



●ブロック塀・板塀

- ・ブロック塀にひび割れや破損が所はないか
- ・板塀にくらつきや腐りはないか



●ベランダ

- ・鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高いものは室内へ



●その他

- ・プロパンガスボンベは固定されているか
- ・商店などでは看板のくらつきにも注意
- ・庭の鉢植えに注意。室内に入れておこう
- ・テレビアンテナの設置状態をチェック
- ・家の周りを一周し、飛ばされそうなものはすべて室内に取り込むか、固定するなどの飛散防止を



確認しておきましょう あなたの避難所

第2次避難所(屋内避難所)

地区	避難所の名称	所在地
荒谷	カルルス婦人研修の家	カルルス町27~1
登別	登別温泉公民館	登別温泉町17
	登別温泉小学校	登別温泉町184
	登別温泉中学校	登別温泉町123~1
	登別温泉保育所	登別温泉町92~7
	老人憩いの家 泉和園	登別温泉町153~1
	老人憩いの家白樺の家	中登別町152~3
登別	登別公民館	登別東町2~21~2
	老人憩いの家 明和園	登別東町2~21~1
	登別児童館	登別東町4~19~2
	老人憩いの家沙見の家	登別東町4~38
	婦人センター	登別東町3~7
	老人憩いの家 翠の家	登別東町5~13~6
	登別中学校	登別本町1~1~1
	老人憩いの家美善の家	登別本町1~18~5
	登別東青少年会館	登別本町1~18~4
	登別小学校	登別本町3~25~2
富浦	富浦会館	富浦町1~46~4
	富浦児童館	富浦町1~52~3
札内	札内小中学校	札内町73~3
	老人憩いの家 倍楽園	札内町73~1
幌別	老人憩いの家 すずらんの家	幸町5~27~4
	幌別東小学校	幌別町8~16~1
	老人憩いの家 東寿園	幌別町7~18~1
	老人憩いの家 永和園	幌別町3~18~2
	鉄南ふれあいセンター	幌別町3~17~1
	幌別児童館	幌別町4~10~3
	幌別東団地集会所	幌別町8~12
	老人憩いの家千歳福寿園	千歳町101~1
	幌別中学校	千歳町3~1~3
	老人憩いの家千歳の家	千歳町4~6~2
老人憩いの家 三寿園	中央町3~10~3	

地区	避難所の名称	所在地
幌別	老人憩いの家 静和園	中央町5~13~7
	登別青少年会館	中央町5~21~12
	市役所第2庁舎	中央町6~11
	幌別小学校	中央町6~19~1
	常盤婦人研修の家	常盤町2~34~1
	老人憩いの家百寿の家	常盤町2~35~1
	老人憩いの家常盤の家	常盤町3~26~3
	柏木団地集会所	柏木町1~28~1
	柏木婦人研修の家	柏木町4~24~8
	老人憩いの家こぶしの家	柏木町4~24~11
	老人憩いの家柏木の家	柏木町4~31~2
	老人憩いの家相生の家	富士町1~1~4
	富士幼稚園	富士町7~1~1
	富士会館	富士町7~2~1
	富士保育所	富士町7~2~1
	老人福祉センター	富士町7~11~1
	登別市民会館	富士町7~33~1
	老人憩いの家梅の木の家	片倉町3~14~19
	西陵中学校	片倉町5~12~1
幌別西小学校	片倉町5~13	
総合福祉センター	片倉町6~9~1	
老人憩いの家むむの木の家	新川町3~6~2	
新川婦人研修の家	新川町4~15~11	
老人憩いの家緑寿の家	緑町1丁目2~4	
桜木婦人研修の家	桜木町2~15~17	
老人憩いの家桜木の家	桜木町2~15~16	
青葉小学校	青葉町3~3	
老人憩いの家あかじやの家	若山町2~9~2	
総合体育館	若山町2~26~1	
老人憩いの家若山の家	若山町2~43~128	
老人憩いの家若汐の家	若山町4~6~6	
市民研修センター	鉾山町8~3	

地区	避難所の名称	所在地
幌別	老人憩いの家 和幸園	大和町2~27~17
	緑陽中学校	富岸町1~1~11
	老人憩いの家富久寿園	富岸町1~3~2
	富岸小学校	富岸町2~17~4
	富岸青少年会館	富岸町2~23~15
	老人憩いの家新生虹の家	新生町1~13~21
	新生団地集会所	新生町2~18~4
	千代の台集会所	新生町3~13~1
	老人憩いの家希望の家	新生町5~23~21
	老人憩いの家 共和園	栄町1~10~1
	栄婦人研修の家	栄町2~7~5
	富浜児童館	栄町2~18~4
	老人憩いの家 栄楽園	栄町4~24~3
	若草小学校	若草町1~1~2
	若草婦人研修の家	若草町2~2~7
	若草幼稚園	若草町2~11~1
	若草つどいセンター	若草町4~21~1
	老人憩いの家 優和園	若草町5~32~7
	老人憩いの家 双和園	幌別町1~26~2
	幌別児童館	幌別町1~36~3
	幌別青少年会館	幌別町4~36~38
	幌別公民館	幌別町3~3~4
	幌別小学校	幌別町4~36~21
	幌別中学校	幌別町4~36~6
	老人憩いの家 恵和園	幌別町4~36~37
	老人憩いの家 賢六園	幌別町6~14~10
	老人憩いの家みその園	美園町2~6~1
老人憩いの家 旭ヶ丘三寿園	美園町4~8~8	
美園婦人研修の家	美園町4~8~9	
老人憩いの家 光和園	美園町5~15~4	
美園児童センター	美園町5~36~4	
老人憩いの家 桜美園	上幌別町117~26	

消防署密着体験リポート



市民リポーター
兼子 浩二 (千歳町・34歳)

9月9日は「救急の日」です。
今月号は、「救急の日」にちなみ、男性リポーター3名のうち一番若くて体力がある(?)私、兼子浩二(34歳)が、ふたんあまり知られていない消防署の中に潜入し、密着体験リポートしてみました。

8月6日

AM 8:15 49回目の広島原爆記念日、犠牲者のめい福を祈るサイレンとともに熱い1日が始まった。

AM 9:00 登別の消防と救急の体制について、署員の説明を聞く。消防の仕事は大きく次の6つに分けられる。

予防 火災の予防・各施設の防火
査察など

警戒 火災の発生を警戒すること
鎮圧 火災、災害の鎮圧(消火を含む)

調査 火災や災害の原因調査
救急 救急車の出動に関すること
その他に一般的な災害(崖下に転落など)の防除、救助活動である。

各消防署は24時間体制で随時、最低勤務人員以上の署員が配置されている。

本署の場合、救急隊は3名、消防隊は5名の編成となっており、出動中は署内の人員を確保するため非番の隊員が呼び出される。

消防の勤務は、1日おきの勤務である。はたから見ると、楽そうな勤務形態だが、実際は1日24時間うちの労働時間は約16時間。残りの時間は2時間半交替の仮眠などにあてる。

1日の仕事は、朝の点呼から始まり続いて車両の引き継ぎと装備点検整備を行う。その後、日常の事務や防火査察、訓練などをスケジュールに合わせてこなしていく。しかし、救急や火災などの出動が多く、なかなか予定通りに進まず、1週間で済む事務仕事も消防署では1か月かかるというのものがなづける。

昨年(平成5年)1年間の市内の

火災発生件数は17件、そのうち7件が全焼、5件が車両の火災である。また火災による死傷者は、死者3名、傷者が1名となっている。

救急隊の出動は、1,383回、実に1日3.6回もの出動がある。

AM 9:00 いよいよ、救急活動の核とも言える救急車の説明を受ける。初めて見る救急車の内部に若干の興奮と緊張を覚える。ズラリと並んだ救急に必要な道具たち、傷病者の様態が一目で分かるように液晶モニターに映し出される装置。心臓マッサー・ジヤ器や酸素マスク等も積まれている。なかでも下肢等の出血による血圧低下を防ぐ「ショック・パンツ」には、驚かされた。「ショック・パンツ」とは、ズボンのようなものに空気を

送り込み血管を圧迫することで血圧の低下を防ぐものらしい。なんでも、ジェット戦闘機のバイロットが、気圧による血圧低下を防ぐ為に開発されたという。最先端装備に驚くばかり。

装備などの説明の中で、「CPR」なる言葉を何度も耳にした。

AM 9:45 救急隊員がタミー人形を使い、現場到着から収容までを本番さながらに、訓練で再現してくれた。

救急隊の現場到着、傷病者の状態の確認、そして応急措置へ、そ

の間わずか30秒程度、素早い判断力とチームワークの良さに関心した。その後「CPR」を実際に体験してみた。

ちなみに昨年1年間で「CPR」を要した傷病者は41人(搬送されたものに限る)、うち応急手当をすでにしていたものはわずか4件、心肺蘇生を行っていた事例は1件しかない。よく「動かさないほうが良い」と言うような事を耳にする。確かにそうしたほうが良いと

きもあるのだが、傷病の状態によっては的確な応急処置を必要とすることが少なくないそうだ。そのためにも正しい知識を身につける事の必要性を実感した。

AM 11:00 いよいよレスキュー訓練の体験へ。消防庁倉屋上にある足場と足場の間(20m)に渡したロープを渡る渡過訓練に挑戦。まずは足場の上に立ってみる。隊員の「だいじょうぶですか。渡れませんか?」の問い掛けに、一瞬の戸惑いを感じながらも「やってみ



▲基本知識さえ身につければ、CPRはだれにでもできる

※「CPR」とは心肺蘇生措置、C(Cordio...心臓)、P(Pulmonary...肺)、R(Resuscitation...再開)のことで、呼吸と循環を維持、回復させる事を目的とする措置。



▲マラソンで鍛えた体力には自信があったが……

続いて、消防車と工作車の説明。消防車には2トンもの水が積まれている、消火に使うホースの筒先にはものすごい水圧がかかるそうだ。工作車には、チェーン

しよう」と言ってしまった。
AM 11:10 訓練の準備に入る。作業服、安全靴に着替える。その時、サイレンの音と共に、救急隊出動の放送がかかる。
 隊員の中に一瞬の緊張感が走る。救急隊員3名が足早に車庫へ、素早く着替え救急車へ乗車、サイレンを鳴らして出動していく。我々は指令室へ。司令室では非番の隊員へ出動要請の最中だった。しばらくの間、緊張が続く。現場到着の連絡の後、傷病者の状態が報告される。幸いにして命に係わるケガではないとの報告にひと安心。指令室を後にする。
AM 11:40 いよいよ、渡過訓練に挑戦。腰に命綱を結び「準備ヨシ！」。念のためもう一本ロープを結び途中でリタイアしたときの救助ロープとする。深呼吸をし、隊員の合図でいざ出発。
 今回は「チロリアン渡過」と言

を付け両手でロープをたぐりよせる渡り方。最初の2、3回は快調に進んだが、徐々にスピードダウン。ついに、途中で立ち往生してしまった。気を取り直して、最後の力を振り絞りたどり着こうと、必死に手を動かした。最後は、1分前まで隊員が差し出した命綱につかまりなんとか完走ならぬ、完走できた。しかし、腕はパンパンに張り、息も絶え絶え、なんとも無様な姿であった。「もう一度渡りますか」の問いに、思わず首を横に振ってしまった。私は、2分30秒もかかったのに、隊員はわずか10秒足らずで渡る。
 市民の命を守るため、日ごろの鍛練を怠らない結果である。たとえ仕事とはいえ、私はただ脱帽。
PM 12:10 渡過訓練が終わわり、次に防火服とエア・バック（呼吸用圧縮空気ボンベ）を試着してみる。とても重くそして暑い。この格好で火災現場を走り、時にはケガ人を背負うこともあるとのこと。試しに走ってみると、5分も行かないうちに、ギブアップしてしま

つた。
 この間、苦労話を聞く。現在の日本の救急事情は、決し

り期待はしていなかった。しかし、予想に反してなかなかのもの。1日置きに夕食自炊の生活を長年してきた成果か、野菜を切る手つきも鮮やかで、アツという間に料理が進んでいく。その途中、本日3回目の救急車の出動。食事当番の隊員が出動のため、別の署員が食事の支度をする。

PM 5:00 夕方の取材開始。まずは夕食の支度。消防は24時間勤務で、外出ができないため夕食はいつも手の空いている署員が作る。男の料理ということで正直あまり

が帰ってきた。「お疲れさまでした」と声をかけ、午前中の取材は終了。すでに私の体はへろへろの状態だった。
PM 12:30 出動していた救急隊員

ソーヤカッターなどの工作機械やスコップ、ロープなどが積まれており、小さな工場のような感じだ。



▲包丁さばきは、プロ並?

て先進国ではない。法律の改正により、救急隊員ができる応急処置の範囲は若干広くなったが、医師の指示がなければ処置できないという点に変わりはない。時には激しい出血やおう吐を伴う傷病者などの応急処置を行うが、救急隊員といえどもひとりの人間であり気分が悪くなることもある。しかし、持ち前の強い精神力で耐え救急活動を行っている。特に困るのは、救急を要する状態ではない事例で出動を要請されるケースが、若干ながら増える傾向にある。この為、本当に救急車を必要とする傷病者への影響が心配されるとのこと。
PM 6:00 出動していた隊員も帰署しいよいよ夕食。この日のメニューは「冷し中華、ポリウム満点で会話ははずむ。緊張の連続の中でホッとする時間だ。食べ終えた隊員から調理場の後片付けをはじめ。ここでも、チームワークの良さが見える。一方、この間も指令室では当番の隊員が119番通報の受付をしながら食事をとっている。
PM 6:30 後片付けのあいだ3人の隊員に質問をした。
 この仕事をしています、一番つらかった(悲しかった)ことは? 「救急車で出動したが、搬送した方が残念ながら亡くなったとき。また、家族の涙を見たとき。」
 ズバリ、自分の仕事に誇りをもっていますか。

今まで黙っていた入隊2年目の若い隊員が口を開き、「私は、誇りをもっています。」その一言を聞いて私は安心した。最後に、消防署から市民の皆さんにお願いがあった。
 「あなたの財産と命を守るの、あなた自身です。くれぐれも火の用心と自分の健康状態に注意を。そして、道路を横断しようとしているとき救急車が来たら渡らずに救急車の通過を待つ欲しい。また、救急車を呼ぶ前に、冷静に傷病者の状態を確認して欲しい。」
PM 8:00 取材を終え帰宅。しかし、隊員の皆さんの勤務は明朝9時まで続く……

後日聞いとこの日の出動は、救急5回とのこと。隊員の皆さんの日ごろの苦勞と努力に敬意を表すると共に、健康と安全を心から祈ります。

命にかかわるようなとき、わずかも応急処置の方法や知識を身につけておくか、いないかが、その明暗を大きく分けます。

消防署では、一人でも多くの方に応急処置の知識を身に付けてもらうため9月9日「救急の日」に個別サテライトセンターコートで午後1時から3時まで、救急隊員による「CPR」等の実技指導、応急処置のビデオ放映、パネル展示などを行います。また、消防署ではご要望があればいつでも無料で救急講習会を開きます。皆さんのご利用をお待ちしています。

▽問い合わせ 消防署(055-25511)

▽問い合わせ 消防署(055-25511)

▽問い合わせ 消防署(055-25511)

西



走

鉾山町の 自然を満喫

第1回大自然まつり



7月31日、鉾山町のログハウス村で第1回大自然まつりが行われました。鉾山町の魅力をたっぷり味わってもらおうと市民グループ・幌別川を育てる会などが実行委員会を組織し、手作りで行われたイベントです。広場には、フリーマーケットや焼き鳥、いか焼きの露店が並び、無農薬野菜や魚拓Tシャツの即売会、木の葉ではがきを作るネイチャーゲーム、幌別川の溪流ボート下りなど行われました。

この日は、真夏の日差しが差し込む絶好の祭り日和。山の緑に囲まれて、訪れた市民はさわやかな大自然を満喫しました。

私が見た登別

子育てにはとても 良い環境



しもむら
下村みづほ さん
(片倉町・24歳)



—いつから登別に？
平成3年12月です。夫が市内の会社に勤めたので来ました。—それまではどこに
生まれてから静岡県清水市に住んでいました。マグロの水揚げ日本一の清水港があり、おいしいマグロが安く食べられました。昔から、野球よりサッカーが盛んな所で、今はJリーグの清水エスパスで有名ですね。
—来る前の登別のイメージは
温泉ですね。日本の北にあるので、2階の高さまで雪が積も

る豪雪地帯だと思っていました。—住んで見ての印象は
自然がすぐそこにありますね。国道から少しわきにせれるだけで民家の全然ない森になりますよ。キツネが人前に出てくるのにも驚きました。この静かな環境の中で子育てできるのは、子どものために良いことだと思います。
—清水市と比べて
交通の便が悪いですね。電車が1時間に1本程しかないです。車を持っていない子供達は、出掛けるのが大変なのでは？。私は、こちらに来てから車の免許を取りました。
清水市には、企画の段階から大勢の市民が参加する港祭りや盆踊りなどのお祭りがあります。全市的にすこく盛り上がり、登別には、そんなお祭りが少ないように感じますが(？)。

7月30日、市民会館で第5回鬼サミット・登別が催され、オペラ「泣いた赤鬼」公演や、第3回鬼っ子サミットが行われました。
鬼っ子サミットでは、市内全小学校の4、5、6年生を代表する30人が、「私たちのまち」をテーマに登別の自然、現状、将来について、一人ひとり堂々と意見を発表しました。
昨年の秋の登別川でのサケ大量死問題を取り上げ「自然を大切にしよう」と訴えたり、「ゴミの投げ捨てはマナーの問題」など、子供達の自然環境保全への関心の高さが現れていました。

第3回鬼っ子サミット 小学生が意見発表



市内初の老人保健施設 ＝病院と家庭の中間施設＝



グリーンコート 三愛



中登別町で三愛病院と特別養護老人ホーム・緑風園を運営する医療法人・社団千寿会三愛病院（千葉寿良理事長院長）が、老人保健施設「グリーンコート三愛」を三愛病院横に建設し、5月1日から運営しています。

グリーンコート三愛は、病状が安定した高齢入院者の自宅復帰を目指すため、リハビリや看護、介護を行う施設で、登別市高齢者保健福祉計画の一環として建設されたものです。

職員は、医師1名、看護婦7名、

ケアワーカー（寮母）18名、相談指導員、作業療法士各1名など総勢41名。

4階建の施設は、ベッド数80、療養室は4人部屋13室・2人部屋8室・1人部屋12室で機能回復訓練室や談話室、ゆったりとしたスペースの食堂、理容室、家族宿泊室、ボランティアルームなど、ホテル並の雰囲気で大変充実しています。特に、展望の良い3階にある浴室は温泉を引き、利用者に好評です。

また、家庭から通いながら入浴や食事、機能回復訓練などのサービスを受けられるデイケア（通所）や、介護をしている家族の方が何かの理由で介護ができない場合、14日以内だけ家族に代わってお世話するショートステイ（短期入所）も行っていきます。

▽対象者 病状安定期にあり入院治療を必要としない70歳以上の方または、65歳以上で老人保健法医療受給証をお持ちの方
※申し込みは、グリーンコート三愛へ

▽問い合わせ グリーンコート三愛（☎0111）保健福祉課（☎0100）

- 利用料 1日 1,804円
内訳＝食費（3食おやつ付）1,470円・日用品100円・教養娯楽費100円・テレビ50円・冷蔵庫84円
- デイケア1日 1,000円
- ショートステイ1日 1,670円

藤工芸サークル

代表 阿部 洋子さん
（☎01740）

仲間たち

生活用品をこつこつと
「完成した時が最高の喜び」



竹に似たつる性の植物「籐」を使って、壁掛けや小物入れを編む「籐工芸」。

キャリア20年の東本恵美子さん（登別本町在住）を講師に、婦人センターで毎週火曜日の午前10時から正午まで、4、5名で楽しんでいます。

「私は、籐工芸を始めてからもう15年になるの。週1回、先生から所々教えてもらいながら、編んでいます。自分の好きなようにやっているから長続きするんだわ。手先を使うから、老化防止にいいんだよ」と代表の阿部さんが笑いながら話してくれました。

水に浸して柔らかくした籐や藤皮、アケビなどを万能バサミと目打ちを使ってカゴや鉢植えのカバーなどを製作しています。

難しそうですね、とお聞きすると、「自分が思う形を出せないところが難しいかな。でもね、それが逆におもしろいの。籐を編むことは簡単よ」とみんな声をそろえました。

市内のサークルで「籐工芸」をやっているのはここだけ。13年間指導している東本さんは「見かけより優しいですよ。やってみたい方はぜひどうぞ」と呼びかけています。

きらり

天皇賜杯第49回全日本軟式野球大会出場

医療法人三愛病院野球部

監督 **小杉浩光** さん
(富士町・32歳)



7月25日、天皇賜杯第49回全日本軟式野球南北北海道大会が市川上公園野球場で行われ、決勝戦で地元からの出場チーム「医療法人三愛病院」が接戦の末札幌地区代表を破り、うれしい初優勝を飾りました。9月15日から宮崎県都城市で行われる全国大会へ出場する野球部の小杉監督に話を聞きました。

「どれくらい練習しているんですか」
「シーズン中は毎日夕方5時半ぐらいから7時くらいまで練習しています」
「仕事との両立が大変そうですね」
「やはり仕事優先ですから、それをまず考えますね。私は病院の経理をやっているんですけど、本当は忙しくてなかなか空けられないんですよ。理事者や同僚職員の理解のおかげで続けられています」
「小杉さんは監督を務めて何年目ですか」
「6年目です。それまでは選手としてキャッチャーをやっていました(小杉さんは北海道大学の野球部でキャッチャー)今は控え捕手です。今の正捕手がケガの少ない選手なのであまり出番がないんですよ(笑)最初の3年くらいは監督をやりながら試合に出ていたんですけど、やはり監督に徹した方が良いということがやっとわかりまし

て・・・本当は出たいんですけど(笑)」

「監督として苦労することは

「選手達と歳が近いんで個性がぶつかり合いますよ。その中でいろいろ調整していくのに苦労しますね。言葉で衝突することも結構ありました」

「チームを紹介してください」

「部員は、15名で平均年齢28歳です。陰と陽でたとえるなら、陽の端にいるような陽気なチームです。ピッチャーを中心にした守りの野球で、少ないチャンスを生かしながら、ここまでやってきたチームです」

「自分では厳しい監督だと思いませんか」

「野球のときは厳しいと思います。ユニホームを着たら人が変わりますんで(笑)」

「最後に市民の皆さんに一言どうぞ」

「北海道の代表として恥ずかしくないプレーをしてきます。皆さん応援してください」



◀ 南北北海道代表で出場する「医療法人三愛病院」サイン

10本の筆が陳列され、大小とりどりの硯が並んでいる。故長谷川運牛氏の愛弟子として、教範(最上位)の肩書を持ち、各種の書展で活躍している。豪放で気迫あふれる書はまさに心技一体の作なのだろう。書は人柄を表すというが、57歳の体のどこに、このスタミナが潜んでいるのだろうか。



町内会の副会長としての活動。子供たちへの書道教室。秋になれば、ジュニアスキー強化合宿の指導が待っているとかで、話は尽きなかった。終始、そばで静かに聞き入っていた奥さん。「わが家の自慢」はこの人ですよと言っているような笑顔でした。
〈市民リポーター 高橋 信彰〉
今回は、阿部けさよさん(若草町)です。

友達の輪

わが家の自慢

唐詩



村田健二さん
(美園町・67歳)

日中の暑さを避けて夕刻、ご紹介をいただいた村田健二さん宅を訪問した。

庭先に涼しさを求めて盆栽の手入れをしている村田さん。一見、小柄でやさしい感じ。会話に何の気負いもなく、親しみの深まる人柄である。「一昨日、根室から帰って来たばかりです」。望郷サイクリングの190キロロードに参加し、満足のいく成績だったとか。30年前、全道一周を目標に始めた自転車ロード。毎朝40キロ走破が現在の日課であるという。酒タバコを避け、心身の万全を期しての姿勢は、年齢を全く感じさせない。「私の夢をかなえてくれる自転車をお見せしましょう」と離れの一室に案内された。40万円という自転車はまさに逸品、力の入れ方が違う。室内を見渡すとそこは書家「村田二峰」の一室である。棚には数

登別市名誉市民

故志賀裕氏の 公葬を執り行います



志賀裕氏は、8月12日93歳をもって永眠されました。ここに生前の御功績を偲び、次により告別式を執り行いますので、謹んで御通知申し上げます。

登別市名誉市民 志賀 裕氏は、8月12日93歳をもって永眠されました。ここに生前の御功績を偲び、次により告別式を執り行いますので、謹んで御通知申し上げます。

なお、御香典、御供花、御供物等の儀は固く御遠慮申し上げます。万一お届けいただいても御遠慮申し上げますので御了承願います。

▽告別式 9月19日(月) 午前10時

▽式場 登別市民会館 (登別市富士町7丁目33番地)

略歴

明治35年福島県双葉町生まれ。昭和12年幌別村議会議員に初当選以来、昭和58年まで同村議、町議、市議に11回連続当選(46年間)し、この間、22年から36年まで通算10年間議長として務められました。昭和48年には、勲四等瑞宝章を受章され、昭和58年登別市名誉市民として第1号の称号が贈られました。

フレッシュ ボイス

「毎日子供たちに、笑顔で楽しいお話しをしてあげること、子供たちは、心を聞いてくれます」と、幼稚園教諭2年目を迎えた志津恵さん。短大を卒業と同時にあこがれていた幼稚園の先生に：

「自分がまだ幼稚園児だった時から、先生になりました。先生が子供たちの中で輝いていて、楽しそうに見えました。今でも印象深く覚えています」と、きっかけを熱っぽく話します。

子供たちと遊んでいると疲れも悩みも飛んで行くという志津恵さん。

「子供たちと一緒に学んだり、遊んだりして、元気で、のびのびと育つようなクラスを目指したいです」と、キュートな笑顔で話すフレッシュ先生。



白山志津恵さん(中央町・21歳★しし座) 登別カトリック聖心幼稚園教諭

となりまち ホットライン

室蘭市



第3回JFL(サッカー) 「セレッソ大阪VS富士通」

JFL「セレッソ大阪対富士通」戦が、いよいよ室蘭市の入江運動公園陸上競技場で行われます。プロ選手の迫力あるプレーをぜひ、お楽しみください。

- ▷日時 9月15日(木)13:00キックオフ
- ▷場所 入江運動公園陸上競技場
- ▷入場料金 S S席2,000円(2,300円)
- 自由席[大人]1,500円(1,700円)
- 自由席[中学・高校生]1,000円(1,200円)
- 自由席[小学生]500円(600円)

※料金は前売券、()内は当日券

- ▷チケット発売所 室蘭市体育館、入江運動公園陸上競技場、胆振管内のJR主な駅など
- ▷問い合わせ 企画振興課(☎21111)

伊達市



伊達農業まつり (収穫感謝祭)へ お越しを!

第15回伊達農業まつり実行委員会主催(JA伊達市、伊達市ほか)の収穫感謝祭が行われます。市内の農家で収穫した野菜はもちろん畜産物など豊富に取りそろえていますので、ドライブかたがた会場に足を運んでみませんか。

- ▷日時 10月2日(日)10:00~15:00
- ▷場所 JA伊達市Aコープくみあいマーケット本店駐車場(末永町74)
- ▷内容 野菜無料配布・即売、畜産品のPR・即売、カラオケ大会、もちまき、ゲームコーナー・露店コーナーなど
- ▷問い合わせ 伊達市農業協同組合(☎0142-2181)



いっしょに歩こう 生涯学習

さあ！

元気に歩いて

健康増進

毎日の生活を快適に過ごすためには、日ごろから健康の保持増進に努めることが大切です。余暇を利用して散歩・ジョギングなど、

いろいろな体力づくりに取り組む人も増えていきます。このような体力づくりへの取り組みも大切な生涯学習です。

今月号は、毎朝仲間と一



▲「歩こう会」の皆さんと（左から4人目が添田さん）

緒に「歩く」ことで身体を鍛えている添田己之吉さんの活動を紹介します。



添田さんは、若いころはジョギングをしていましたが、年と共に体力に限界を感じ、歩くことに切り替えました。以前から、天然記念物の北海道犬の保存活動



添田己之吉さん（富士町・65歳）

つてしまったような感じがありました。そうです。

歩こう会は、毎朝6時に富士町のホームストアーを出発して郷土資料館、小平岸橋、ポンプ場まで約5キロを50分位で一周してきます。



念物の北海道犬の保存活動にもかかわっていて、飼育している愛犬を毎朝運動させているのですが、なかまち会（新日鉄OB会）幌別分会に「歩こう会」があることを聞いて、平成2年から参加しています。最長距離を歩いた体験としては、苫小牧の糸井から室蘭の入江公園まで。「その時は、足の裏の皮膚がどこかへ奇

添田さんは「小鳥のさえずりや川のせせらぎを聞きながらの散歩は、気分がすう快になります。自分の健康のために、だれでもできることなので、一人でも多くの仲間が増えてほしいです」と話しています。このほか、詩吟の師範、剣舞、ボランティアガイドなど多芸・多趣味で生涯学習に意欲的な添田さんです。

（生涯教育推進室）

鬼大使 FAX 通信...④



小杉淳一さん（49歳）
（千葉県沼南町在住）

高齢化社会と医療

登別市の皆さんお元気ですか。3年前「大地の祭典」に参加して、市民の活気に驚き感銘いたしました。田高・ドル安で国際経済が混乱している現在、日本の社会がどうなるのかを考えてみました。

国民医療費は年間24兆円に達し、出生率は15を切り将来は4人に1人が老人という社会が到来して、老人医療費が30割からさらに増加します。そのため、在宅福祉の推進、老人施設の緊急整備などを行う国の施策「ゴールドプラン」が現在進行中で、登別市の総合福祉センターもこの一例です。

少子・高齢化社会における医療は、現在の均等な恩恵ではなく必要最小限の医療を力押し、多様化するニーズには公平な費用負担を要求しています。また、高度医療、一般診療、在宅医

療を柱として医療費を削減し福祉を倍増する豊かで楽しい老後を保障しています。保健医療サービス、とりわけ寝たきり老人に対する在宅ケアは、福祉教育（ボランティア等）、家族、地域社会、自治体との連携が重要になります。

最後に、我が故郷登別の広大な緑地・きれいな環境を将来にわたって維持してくれることを願っています。



▲総合福祉センター・しんた21で行われているデイ・サービス

先月号掲載で秋田美沙子さんとは秋田美紗子さんの誤りでした。お詫びして訂正します。

むかし、幌別川は「カニサシベツ・黄金の音が鳴り響く川」という伝説で語られていました。

幌別川の上流、シノマンベツに金が出る所があり「綺麗な流れの中で砂金が触れ合い、美しい音を出しているのだ」と言うのです。

伝説のとおり、幌別鉱山（シノマンベツ）の奥に金を産出した旭鉱山がある。その下流に熊の沢・白竜・滝の沢、幌別鉱山北東のライバエオマベツ（ライバに水源が向いている川）付近は岩の崎、山下日の出などの鉱床があつて、明治39年から大正昭和にかけて金銀・銅などを大量に生産し、伝説を裏つけた栄光の場所であつたのです。

郷土史 郷土史 郷土史

52

また、幌別鉱山の北方約10キロ大峠を越えた黄溪の硫黄山から生産した硫黄鉱石は、玉村式索道（ロープウェイ）で鉱山に運搬精製し、大正期には、「硫黄生産日本一」の実力を誇った輝かしい町でした。さて、カニサシベツで知られた金属鉱の採掘については、江戸時代の資料にみえません。勿論、松前には遠いし、幕府も北方警備で精一杯、場所請負人は、簡便な利

宮武 紳一 登別郷土文化研究会

鉱山町を訪ねて

「金鉱と日本一の硫黄生産を誇る」

その1

益を追求した、ということでしょう。明治になり、アメリカ人地質学者ライマンが鉱物資源の調査を全道的に行い、登別ではカルルス温泉の鉄鉱石、登別温泉の地獄谷、大湯沼の硫黄、幌別鉱山の金銀銅について北海

田良治という人物が明治39年幌別鉱山の経営に着手してから鉱山の発展をみるようになったのである。ちなみに、小田良治は明治5年大分県生まれ、18歳の時に渡米、苦学してサンフランシスコ商業学校を卒業し、ニューヨークで

店を驚かせ、それは今日の日本のデパートの基礎を築いた人物でもあつたのです。さて、小田良治の幌別鉱山の創業にあたり鉱山地方の地質を考えてみましょう。鉱山町のシノマンベツ（鉱山町の橋を渡り中央の旭鉱山の方向）上流に、濃緑色・緑色の火山性の岩盤がみられるが、これが登別地方、西南北海道で最も古い地層に属する大曲沢層で、地質年代は先白亜紀層に属しているから、恐竜など巨大動物の時代を思わせるが、断層が多く地層の走行・傾斜も不定で化石も発見されておられません。

道開拓使に報告しているが「幌別鉱山は鉱脈も少なく企業性に乏しい」と述べている。当時は、石炭を重視した慌ただしい調査だったので分からなかつたのでしよう。片倉家の筆頭家老本澤直養も幾度か調査し、黄金の開発に期待をしたが思い通りにいかなかつた。一獲千金を狙う山師の多い時代なので大勢の入り込みもあつた。中でも北海道炭鉄道敷設に参加した仙台の早川組や函館の某など。本格的な幌別鉱山の開発は、小

▲金銀銅の製練工場

日本製鋼所・苦小牧王子製紙の代表監事も務めていた。特に札幌駅前前の老舗五番館（五番館西武）の初代社長に就任し、独自の経営方式を試みています。例えば当時、商店で女性の店員を働かせるなど考えられない世の中であつたがエプロンスタイルの制服を着せた女店員を配置し、現金売りをしたり（当時貸し売りが普通）、札幌五番館の彼の経営ぶりは、全国の百貨

また夢のような話ですが、その後海底で火山活動が起こり、重金属を含んだ溶岩が流出生成したのが幌別鉱山の金属鉱床で、青緑色・黄緑色の岩肌（砂岩や海洋性のものが含まれています）。幌別鉱山を生成した新第三紀も後半になると幌別ダム周辺で灰色淡褐色の砂岩・泥岩層が見られる。この中に500万〜200万年前の北寄貝に似た大きなホタテ貝（学名タカハシホタテ）が登別高校郷土史部により発掘され北大魚住教授が学会で発表しました。このころの登別地方は、まだ驚別岳・来馬岳・オロフレ岳も見えない浅海の時代であつたのです。



まちかどぶらり



えん ま どう
閻魔堂

登別温泉町



閻魔堂は、昨年、内容を一新した地獄まつりに初登場した「閻魔大王」の住まいです。「閻魔大王」は、国内最大級のからくり山車で、立ち上ったり腕を振ったりしながら「地獄の審判」をします。

今年も、地獄祭りが出番が終わった「閻魔大王」は、登別温泉町の極楽通りの一角に、かわら屋根で色鮮やかな建物の中から、一日3回「地獄の審判」を披露します。

人のうごき

- 人口 57,108(+81)
- 世帯 20,959(+61)

()は前月比

平成6年7月末現在

鳥名 コムクドリ
観察時期 4月から9月



(文・写真提供 日本野鳥の会会員ヨシキリの会)

▷問い合わせ 伴野さん(☎7515)

僕はコムクドリ。明るい灰色の鳥で頭やほほに赤褐色のベンキをベタッと塗ったような模様があるんだ。体の大きさはスズメより5センチ程大きく、速い羽ばたきで真つすく飛ぶから見分けやすい鳥だと思っよ。

僕らの巣作りは石垣の筒、屋根、巣箱、樹洞など、何でも応用しちゃう器用さが身上なんだ。5月下旬から7月中旬まで、市役所2階の壁穴を拝借して愛の巣を構えたんだ。6月中旬にはかわいいヒナが誕生して、ピーピー愛らしい鳴き声をBGMかわりに響かせたけど、市役所の企画調整室や財政課のみんなさんの仕事は、はかどったかな？僕らは、8月ころから大勢の仲間が集まり、キュルキュルとやかましく鳴きながら大きな木にぎっしり止まるんだ。幌別でのお気に入りの木は、幌別小学校の校庭や刈田神社の境内にあるんだよ。僕たちの渡りは、ちよつと今ごろから鹿児島島を經由して、はるかフィリピン諸島を目指して羽ばたいて行くのさ。



この広報紙は再生紙を使用しています。